

みなさんと議会を結ぶ……議会だより

議会ゆがわら

平成 16 年 9 月

No.51

湯河原町議会のホームページ <http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/>
湯河原町議会のE-mail gikai@town.yugawara.kanagawa.jp

編集/発行 湯河原町議会
〒259-0392
神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1
TEL 0465-63-2111(代) FAX 0465-63-9674

第36回 まつり

8月2日・川堀子供会



8月3日・湯河原サンデーズ



まつり
こども大賞
受賞チーム

6 月
定例会
6/14~6/23

平成16年度一般会計

補正予算などが決まりました。

6月定例会

平成16年第4回湯河原町議会「6月定例会」は、6月14日に開会され、会期10日間（本会議開催日3日間）にわたり開催されました。

この定例会では、条例、補正予算、指定金融機関の指定、動産の取得、湯河原町選挙管理委員及び湯河原町選挙管理委員補充員の選挙など議案9件、陳情審査2件、意見書2件、人事2件などを審議しました。

委員会だより

湯河原町議会には3つの常任委員会（総務文教・民生・経済建設）と4つの特別委員会（広域行政・国内外親善都市推進・合併問題調査・議会だより編集）が設置されています。

総務文教常任委員会

消防本部通信指令施設、消防はしご車の視察を実施。付託案件である「緊急地域雇用創出特別交付金の継続・改善を求める陳情書」を採択。「教育基本法の早期改正」を求める陳情を趣旨採択した。



消防本部通信室

「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の延長に関する意見書を提出することにした。

公文書公開制度、個人情報保護制度の見直しに関する審議会からの答申について説明を受けた。

民生常任委員会

平成16年度国民健康保険料率について

住民基本台帳ネットワークシステムの稼動状況について

介護保険サービス利用状況（平成15年度実績）について

特別養護老人ホーム建設計画の状況について

平成15年度湯河原町介護予防事業実施報告及び平成16年度実施計画について

民生委員児童委員の一言改選について

次世代育成支援に関するニーズ調査の結果について

予防接種による健康被害の救済について

現在の社会情勢から、今後国民健康保険加入世帯が増加することが考えられるが、その場合の対応について質問がされた。

また、住民基本台帳ネットワークシステムの稼働率が低いことについて指摘され、今後は住民基本台帳カードに図書館カードの機能や救急データなどを入れて利用価値を高めたいとの回答を受けた。

経済建設常任委員会

平成16年度夏季行事实施計画（案）について

沿道照明電気料金予算が昨年度25万円から67万円に増になった理由が、電力会社の料金改定となっているが、詳しい内容の提示を求めた。砂の芸術大会の日程を「海の日記念イベント」として開催したらどうかなどの意見が出された。

幕山梅林の年間管理計画について

県の農業改良普及センターの土壌調査の結果、肥料成分が皆無に近いことが判明。今後客土、緩効性肥料を合せて施す報告を受けた。



湯河原梅林(幕山公園)

平成15年度「梅の宴」事業報告と収支決算について
飲食店の出店場所の適正について検討すべきとの要望が出された。

温泉場まち並み景観検討会
温泉場まち並み景観検討会の中間報告について

湯河原町の合併の賛否に関する住民意向調査では、合併に賛成と回答した方が湯河原町では約8割に対し、真鶴町では約4割という結果を受け、真鶴町長から「住民説明会を再度開いて理解を求め、投票などの形でもう一度意向を確認したいので、9月までの3カ月間保留にしていたきたい。」という申し出があり、協議の結果了承することとなりました。

国内外親善都市推進 特別委員会

中国即墨市との交流について

過去に議会と、ゆがわら国際交流協会が現地に赴き、個々に調査しましたが、即墨市との交流については保留とし、他の候補地を含め中国の実情を引き続き調査することにしました。

忠州市姉妹都市提携10周年記念事業について

町民と共に、議会からも代表を同市に派遣すること

に決まりました。
(日程は、9月30日から10月3日の4日間です。)

合併問題調査 特別委員会

4月に実施した真鶴町と湯河原町の合併の賛否に関する住民意向調査では、合併に賛成と回答した方が湯河原町では約8割に対し、真鶴町では約4割という結果を受け、真鶴町長から「住民説明会を再度開いて理解を求め、投票などの形でもう一度意向を確認したいので、9月までの3カ月間保留にしていたきたい。」という申し出があり、協議の結果了承することとなりました。

広域行政特別委員会

「熱海・湯河原広域行政推進協議会」の
15年度会務報告及び決算
16年度事業計画等が案件となり協議しました。委員

会終了後、熱海市と推進協議会を開催し、併せて「熱海の博覧会」を視察しました。

「湯河原町・真鶴町広域行政推進協議会」の

15年度会務報告及び決算
16年度事業計画及び予算
15年度共同処理事業等の負担割合・実績
16年度共同処理事業等の予算

などが案件となり協議しました。委員会終了後、真鶴町と推進協議会を開催しました。

共同処理事業等：水道・ごみ処理・消防・下水道・火葬場など

一般質問

町の一般事務について、議長の許可を得て質問することができます。

質問者は、議長に、質問事項を通告しなければなりません。

質問は、定例会初日に

行なわれ、質問時間は、答弁を含め一人50分以内となっております。

質問者 小澤眞司議員

商店街の値打ちが發揮され、住民が安心して暮らせる「まちづくり」について

「空き店舗」対策は、賑わいのある商店街・「まちづくり」の要です。

空き店舗の実態について
町が助成の「商店街の空き店舗等を活用した事業に対する補助」の活用状況は、商店街・生鮮食品店が営業継続でき、共同購入や商店街の法人化対策など。

「地産地消」、住民参加の「青空市」など、地元産品の消費の支援対策などが必要ではないか。町長の答弁を求めます。

空き店舗の実態は、約60店
大型店の進出の影響、後継者不在による廃業と推測しています。

町の助成では2店舗。現

在は商工会が空き店舗対策を中小企業診断士と勉強会を開始し、その後、実験的店舗を展開予定。町も積極的に支援したい。

共同購入・仕入れは、商工会で調査研究。商店の足並みが揃わないので実現には至っていない。今後も実現は困難と考えています。

地元の商品が地元商店や旅館で広く流通される仕組みを構築していきたい。



空き店舗を活用したテレビでお馴染みの交番

(その他の質問)

「小児医療費無料化の小学校入学前までの引き上げについて」

「障害者対応の現金自動預払機(ATM)の設置について」

Q 湯河原駅開駅80年に当たり町として何等かの対応をすべきことについて

質問者 丸山孝夫議員

町の人達の郷土意識のさ
らなる向上、歴史ある湯河
原駅は町民共同の財産であ
ると改めて認識することに
なる。駅舎やガード等公共
施設に落書きなどしなくな
ることもつながる。町を
愛する心、駅を愛する心が
さらに育つてゆくことでし
よう。開駅50年は町が中心
になり盛大に行われた。
いまに生きる我々が、後
世に町の歴史を伝えてゆく
ことが求められている。小・
中学生に駅に関する絵画を
描いてもらい、一番利用し
ている湯河原高校生にも参
加を求めることです。湯河
原駅の春夏秋冬の写真展等
も観光振興につながる。

A JRより協力要請を受けて関係機関による実行委員会を組織し、町の今昔写真展、鉄道の歴史に関するパネル展等検討し、町の歴史を後世に伝えてまいりたいと考えています。また、湯河原高校生が駅を一番利用しているのので、絵画部等の協力を願って展示する等の格好でと思っています。



80年目を迎える湯河原駅

(その他の質問)
「旧福浦幼稚園舎の解体と跡地の有効利用について」

Q 介護相談員派遣事業の導入について

質問者 長谷川俊子議員

介護相談員の役目は、特
養ホーム、老人保健施設、
グループホーム等の施設を
訪問して、介護サービスの
苦情、不満、疑問、要望な
どを受けて、問題解決をお
手伝いすることです。相談
員のきめ細やかな対応で、
介護サービスの質的向上を
図るお考えはありませんか。

現在1年間に1回以上町
職員、町の臨時職員が、要
介護認定訪問調査をしており、
その際に介護保険サービス
に関する苦情、不満、要望
などを受けております。
本町の介護保険事業は、
円滑な運営が実施されてい
ると考えております。

しかし、利用者にとって、
身近で細やかな相談窓口と
しての役割を担う介護相談
員派遣事業は、重要な施策
の一つとして、導入につい
て前向きに取り組んでいき

たいと考えます。

(その他の質問)
「性同一性障害の方が普通
に暮らせる社会整備につい
て」

質問者 佐々木征坡議員

Q 町当局に対し、外部からなされる要望・提案等いわゆる口利きを記録し、公表することを制度化することについて

外部からの様々な要望や
提案等の口利きには、行政
運営上有益な情報がある反面、
不合理な要望もあると思わ
れる。既に寒川町では、議
員や町民、元職員、各種団
体などから口頭で要求を受
けた場合、内容や度合に応
じて6段階に分類して、全
て書類に残し、情報公開の
対象にする要綱を策定して
いる。当町も行政のより透
明度を図るために制度化し
てはどうか。

これまで、議会を通して、

あるいは町への正式な要望
以外のもの、いわゆる口利
きのようなものは、あまり
記憶にないほどありません
したがって、今後そのよう
なことが起きることも、あ
る程度予測し、将来に向け
て制度化しなければならな
いと受け止めています。

(その他の質問)

「行政に対する町民満足度
調査の実施について」
「国道一三五号の海岸部歩
道の整備について」

質問者 高橋延幸議員

Q ペットと遊べる公園づくりについて

今、ペットは我々に癒し
や安らぎを与えてくれる家
族の一員となっておりませ
す。その反面、動物の苦手な方
には、飼い主のマナーの悪
さや公園などでの遊ばせ方
には、不愉快な思いをする
場面もあります。最近では「ド
ッグランコース」の整備を
検討している自治体や観光

地がありますが、我が町はどのようなお考えがありますか。

A 近年ペットと散歩できる環境の整備や、自由に遊ぶことのできる施設の整備を望む声が多く聞かれますことから、町でもその検討に入っております。特に民家の少ない地域におきましては、空き巣や登下校中の児童に対する犯罪などが全国的に発生しており、湯河原町も例外ではありません。このような犯罪が多発する地域に、ペットの散歩だけではなく、ウォーキングや日常の散歩をしていただくルートを設定することにより、犯罪の防止や児童の安全対策にも役立つものと考え、すでにルートの選定に着手しており、ペットの散歩後、ひもを外して自由に遊ばせる「ドッグラン」のような施設を、ルート内の遊休農地を活用し、整備する検討をしていきたいと考えております。



ドッグラン（イメージ写真）

（その他の質問）
「入湯税充当事業について」

「ドッグラン」…犬が引き綱をつけないで自由に遊べ、全力疾走できる、柵に囲まれた犬のための公園です。

条例改正 及び 廃止

湯河原町行政手続条例（一部改正）

地方公務員法の一部改正に伴い、本条例で引用して

いる同法の条項等を改めるため、条例の一部を改正しました。

第3条第5号中
「公務員」を「町の職員」に、「第2条」を「第3条第1項」に改める。

湯河原町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例（一部改正）

非常勤消防団員の処遇改善を図るため、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令が施行され、消防団員等公務災害補償等共済基金が市町村に支払う消防団員退職報償金支払額を増額したことに伴い、これに準じて湯河原町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給額を一律「2,000円」引き上げるため、条例の一部を改正しました。

湯河原町用品調達基金の設置及び管理に関する条例（廃止）

大規模小売店の進出やイ

ンターネットの普及などにより、物流の円滑化と低廉化が進み、用品の集中購買による効果が希薄化したことから、条例を廃止しました。

専決処分の承認

湯河原町税条例の一部改正について

建築物の安全性及び市街地の防災機能の確保等を図るための建築基準法等の一部を改正する法律の公布に伴い、地方税法に規定する市町村民税法人均等割の税率適用の一部が改正され、法人町民税において「防災街区整備事業組合」を公益法人とみなすため、条例の一部改正を要するので、地方自治法第179条第1項の規定により6月2日に専決処分したとの報告を受け、これを承認しました。

意見書の提出

「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の延長に関する意見書

（提案理由）

地震対策緊急整備事業計画の根拠法である「地震防災対策強化地域における地震防災対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」が平成17年3月31日をもって期限切れとなるため、今後予想される東海地震による災害から地域住民の生命と財産の安全を確保するために、当該計画の充実に期間延長について、特段の配慮をされるよう強く要望する。

防災担当大臣外関係行政庁に意見書を提出しました。

緊急地域雇用創出特別交付金制度の存続と改善を求める意見書

(提案理由)

依然として厳しい状況が続く雇用情勢は、高い水準で推移する完全失業率や中高年・若年者の就職難など深刻な社会問題となっております。

そうした状況の中で「緊急地域雇用創出特別交付金制度」は、本町においても、事業実施から現在までに110人余の雇用の創出が見込まれるなど、一定の成果を上げています。この制度については、平成16年度で終了する予定となっておりますが、厳しい雇用情勢を踏まえると、平成17年度以降についても実施要領や運用方法などの改善と継続実施をされるよう国に強く要望する。

衆議院・参議院議長外閣係行政庁に意見書を提出しました。

陳情審査

賛成多数により趣旨採択

となりました。

件名

「教育基本法の早期改正」を求める意見書の提出について

提出者

「湯河原の教育を考える会」

代表 大塚重敏さん

動産の取得

消防団第8分団(川堀区)

に配備している消防ポンプ自動車(の老朽化に伴い、新たに消防ポンプ自動車(CD型)を日本機械工業株式会社から14,437,500円で購入することについて、全員賛成で可決されました。



昨年第9分団に配備された同型のポンプ車

取得する動産が予定価格700万円以上の場合、議会の議決に付すべき財産の取得又は処分に関する条例により、議会の議決に付さなければなりません。

人事案件

湯河原町選挙管理委員及び湯河原町選挙管理委員補充員の選挙について

地方自治法第182条の規定により、議会において選挙を行い、全員賛成により次の方が当選されました。任期は、平成16年8月12日から平成20年8月11日になります。

湯河原町選挙管理委員

西山 敦さん (再任)

岡崎 潤さん (再任)

北見 芳男さん (再任)

露木 豊彦さん (再任)

湯河原町選挙管理委員

補充員

神永 繁さん (新任)

柏木 忠彦さん (再任)
櫻井 正さん (再任)
土肥野 修さん (再任)

湯河原町指定金融機関の指定

株式会社駿河銀行の指定金融機関の期間が平成16年6月30日で満了となるため、平成16年7月1日から平成17年6月30日までの1年間、「さがみ信用金庫」を湯河原町指定金融機関に指定することに、全員賛成で可決されました。



役場第2庁舎1階にある町指定金融機関

平成16年度6月補正予算の結果

| 会計名 | 補正額 | 補正後の額 | 概要 |
|------------|----------|-------------|--|
| 一般会計 | 5761万5千円 | 87億3761万5千円 | 緊急地域雇用創出特別対策事業、町営孫込住宅改修事業、観光宣伝業務委託事業など |
| 老人保健医療特別会計 | 5131万5千円 | 27億931万5千円 | 医療費支払基金交付金・医療給付費等国庫負担金・審査支払事務費支払基金交付金分過年度償還金 |

補正予算が
決まりました

審議した議案と各議員の賛否（平成16年6月定例会）

は賛成、×は反対、欠は欠席を表しています。

| 議案番号 | 議案名 | 議員名 | 露木寿雄 | 高橋延幸 | 室伏重孝 | 富田幸宏 | 半川義輝 | 長谷川俊子 | 土屋誠一 | 山崎光男 | 杉本光明 | 原田洋 | 佐々木征坡 | 二見康男 | 小澤眞司 | 松野満 | 丸山孝夫 | 北村幸則 | 青木昭久 | 審議結果 | | | |
|-------|---|-----|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-----|-------|------|------|-----|------|------|------|------|----|----|-----|
| 27 | 湯河原町行政手続条例の一部改正について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 欠 | 可決 | | |
| 28 | 湯河原町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 欠 | 可決 | |
| 29 | 湯河原町用品調達基金の設置及び管理に関する条例の廃止について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 欠 | 可決 | |
| 30 | 平成16年度湯河原町一般会計補正予算(第1号) | | | | | | | | | | | | | | | | | × | | | 欠 | 可決 | |
| 31 | 平成16年度湯河原町吉浜財産区特別会計補正予算(第1号) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 欠 | 可決 |
| 32 | 湯河原町指定金融機関の指定について(さがみ信用金庫) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 欠 | 可決 |
| 33 | 動産の取得について(消防ポンプ自動車の購入) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 可決 |
| 34 | 平成16年度湯河原町老人保健医療特別会計補正予算(第1号) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 欠 | 可決 |
| 35 | 専決処分の承認について(湯河原町税条例の一部改正について) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 欠 | 承認 |
| 意見書2 | 「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の延長に関する意見書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 可決 |
| 陳情6号 | 緊急地域雇用創出特別交付金の継続・改善を求める陳情書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 採択 |
| 意見書3 | 緊急地域雇用創出特別交付金制度の存続と改善を求める意見書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 可決 |
| 陳情11号 | 「教育基本法の早期改正」を求める意見書の提出について(陳情) | | | | | | | | | | | | | × | × | × | | × | | | | | 暫採択 |

この魚の名前は？

春から夏に干物にして食べるこの魚、湯河原では「えのきっぱ」と呼ばれていますが、正式名はどれでしょうか。

ギンガメアジ カイワリ ヒイラギ



答えの番号を、ハガキに書いて応募してください。
正解者の中から、10名の方に抽選で粗品を贈呈します。
締切日：9月30日(木)消印有効

No.49の答えは、オニユズでした。

あて先 / 〒259-0392 湯河原町中央二丁目2番地1
湯河原町議会事務局内 議会だより編集委員会 まで

傍聴のご案内

本会議、常任委員会及び特別委員会の傍聴にいらつしやいませんか。

但し、委員会は先着6名です。
受付/開催日の午前9時から
場所/議会事務局

9月議会日程

| | |
|----------|--|
| 9月13日(月) | 本会議(一般質問) |
| 9月14日(火) | 本会議(条例・補正予算等) |
| 9月15日(水) | 民生常任委員会 |
| 9月16日(木) | 広域行政特別委員会 経済建設常任委員会 国内外親善都市推進特別委員会 |
| 9月17日(金) | 本会議(決算質疑) |
| 9月21日(火) | 決算審査特別委員会 |
| 9月22日(水) | 決算審査特別委員会(予備日) |
| 9月24日(金) | 総務文教常任委員会 |
| 9月28日(火) | 本会議(委員長報告等) |

わが町を知る

今回から、地域の祠（ほこら）などを紹介します。

龍宮神社

かつて、福浦の海岸に龍宮岩という大きな岩がありました。

この岩から二百メートル程東の海ぎわの崖の上に、龍宮神社と呼ばれていたお宮がありました。大正十二年（一九二三年）九月一日に発生した関東大震災により、龍宮岩と同じように、このお宮も境内もろとも海へ崩れ落ちてしまいました。

運よく見つかったコマ犬の首と、亀に波をあしらった二つの彫物と、十五センチほどのコマ犬の彫物が、



在りし日の龍宮岩



子之神社の境内にある龍宮神社

後年子之（ねの）神社の境内に建立された龍宮神社（龍神社）に今も保存されています。このお宮とは別に、昔あつた場所の近く（福浦漁港の奥にある坂道の途中）に、新たに小さな龍宮神社が建立されました。

なんでも、龍神様が昔居た所へ移してくれと再三ある人の夢枕に立つたそうです。

九月一日に、漁業関係者がこのお



福浦漁港の奥にある龍宮神社

宮で龍宮様のお祭りを執り行なっています。

狸福神社

狸福（りふく）神社は、観光会館横の階段を登り、「独歩の湯」に向う道の途中の左手にあります。

祠のそばにある由来を説明した看板には次の通り記されています。



万葉公園の中にある狸福神社

「山間の地、この湯河原に一匹の雄狸が居りました。ある日のこと、土地の人達が狩猟の弓で狸を傷つけてしまいました。雄狸は山間を流れる河原に湯の湧き出る所を見つけ、傷を癒していると、同じように足に火傷を負った雌狸が浸りにやってきました。二匹の狸は来る日も来る日も傷を癒しに通ううちに恋仲になり、やがて傷も治り、晴れて夫婦になり

ました。二匹はこの湯のご恩を忘れることなく、人に化けては湯河原の温泉のすばらしさを説き、旅人の願いを叶え、神の使いとなり、今でも湯を守り続けています。」

龍宮神社の記事は、福浦の高橋徳さんが中央農協の農協だよりに投稿された「龍宮岩と龍宮神社」から引用しました。又、取材にあたり子之神社の方のご協力を頂きました。

編集後記

湯河原町議会は、より開かれた議会をめざしており、本会議及び常任・特別委員会の会議録は、ホームページから閲覧できます。（アドレスは、表紙に記載）

なお、本会議会議録は、町立図書館でも閲覧できます。

「議会ゆがわら」に関するご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だより編集委員会委員

委員長 佐々木 征 坡

副委員長 原 田 洋

委員 長谷川 俊 子

委員 土屋 誠 一

委員 杉本 光 明

委員 小澤 眞 司